

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式					
E112E015	漢文学概論 (Introduction of Chinese philosophy )											
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
必修	2	3	教育学部			氏名 古川 末喜 E-mail 内線						
授業の概要	日本文化は、中国文化を取り入れながら成立したといえるが、日本文化に摂取された中国の漢文文献、及び中国古典の言語習慣に則って、日本人が漢字で書きあらわしたものの、その両方がともに「漢文」と称されている。本講義では、日本文化の基礎である中国の漢文について、実際の作品を通してその基本を学ぶ。まずは漢字・熟語の成り立ち、構成から、句やフレーズの構造、機能などを理解していく。次に、諸子百家の散文や歴史書や詩など、歴代の代表的なジャンルの具体的作品を読解していき、小グループで討論しながら、作品内容、作品世界への理解を深め、作者の思想、心情に迫る。その作業を通じて他者を想像する力を養い、子どもへの理解と、適切な指導や必要な支援を行うことができる力の充実に努める。同時に漢文学についての資質の高い教員の養成を目指し、教科指導の確に実践することができるよう目指す。											
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)											
目標1	思想、感情を表現する詩文などに触れ、教職に対する使命感や責任感、教育的愛情を醸成する。											
目標2	漢字・熟語の成り立ち、構成、基本構造、機能などを理解した上で、初見の漢文を読解できるようになる。											
目標3	作品世界を客観的にイメージしたり、作者の心を酌み取ったりするために、自発的・協力的に授業に参加する。											
目標4	授業で学び得た作者の思想、心情をもとにして、学校が抱える多様な課題への応用を試みる。											
目標5												
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
授業の内容												
1	ガイダンス											
2	漢字の成り立ちや構成を中心に											
3	熟語の成り立ちや構成を中心に											
4	句やフレーズの構造、機能を中心に											
5	中国古代の歌謡：詩経詩の特徴について											
6	諸子百家の散文、及びその特徴について											
7	六朝の詩を読む。またその特徴について											
8	唐代の詩：近体詩、古体詩について											
9	唐代の詩：白居易や元稹の詩を読む。またその特徴について											
10	宋代の散文を読む。また文学的散文の特徴について											
11	北宋の詩を読む。またその特徴について											
12	南宋の詩を読む。またその特徴について											
13	元代の詩を読む。またその特徴について											
14	明代の詩を読む。またその特徴について											
15	清代の詩を読む。またその特徴について											
ラーニング	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	3、4人からなる小グループを作り、教員が投げかける問題ごとに議論し、その結果をみなに発表する。また簡潔にノートにまとめる。	工夫	その	他の							
時間外学習の内容と時間の目安	準備 学修	参考文献を読み、事前に配布されたプリントを読んでおく。(30h：毎回2h程度)										
	事後 学修	授業を復習し、講義内容をノートにまとめなおす。(30h：毎回2h程度)										
教科書	授業中にプリントを配布し、また資料を板書する。											
参考書	『社会人のための漢詩漢文小百科』(大修館書店)											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	毎回の授業ごとの気づきを、最後にまとめてレポート提出する。	50%										
	毎回の講義内容や自分で調べた事などを、自分なりのノートにまとめ、点検を受ける。	30%										
	アクティブラーニングでの成果として、グループ討論の状況、及びその討論状況の発表。	10%										
	時間外学習の成果。	10%										
注意事項	パソコンやタブレット、またはその代用となしうるものを、各自用意しておくこと。											
備考	以下のサイトを一度見ておく。国学大師 <a href="http://www.guoxuedashi.com/">http://www.guoxuedashi.com/</a> 漢籍リポジトリ <a href="http://www.kanripo.org/">http://www.kanripo.org/</a>											
リンク	WEB支那漢(支那文を読む為の漢字典) URL <a href="http://www.seiwatei.net/chinakan/chinakan.cgi">http://www.seiwatei.net/chinakan/chinakan.cgi</a>											